

平成22年度 越前町普通会計財務書類4表の概要

財務書類は、町の財政状況について資産や負債のストック情報、減価償却を含むコスト情報、資金収支のキャッシュフロー情報などが分かるよう、企業会計的な手法により表したもので、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」の4表から構成されます。
平成22年度決算に基づく普通会計財務書類を作成しましたので、その概要についてお知らせします。

※下記の条件により作成しています。

- ・普通会計財務書類は、「新地方公会計制度実務研究会報告書」で示された「総務省方式改訂モデル」の作成要領に基づき作成しています。
- ・作成に係る基礎数値は、昭和44年度以降の「地方財政状況調査」の数値を用いています。
- ・普通会計の対象会計は、一般会計、温泉事業特別会計、農林漁業体験実習館事業特別会計です。

貸借対照表

町がこれまでに整備してきた道路、公園、学校、庁舎などの施設や町が有する現金預金、借金残高などをどのくらい保有しているかについて表した財務書類です。
平成22年度末時点での資産、負債、純資産を総括的に対照表示することで、これまでの現金主義で分からなかったストック情報を把握することができます。

(平成23年3月31日現在) (単位:百万円)

借方【財産】		貸方【財源】	
[資産の部] 76,115	[負債の部] 16,843		
・町が行政サービスを提供するために所有する財産	・借金や職員の退職金など将来の世代が負担する債務		
(内訳)	(内訳)		
公共資産 70,081	固定負債 14,996		
・道路、公園、学校、庁舎など	・地方債、職員退職金の将来負担など		
投資等 4,233	流動負債 1,848		
・基金、出資金、長期延滞債権など	・翌年度返済予定の地方債など		
流動資産 1,801	[純資産の部] 59,272		
・現金預金、税未収金など	・現在までの世代が既に負担し支払が済んでいる正味の資産		
(うち歳計現金) 862			
計 76,115	計 76,115		

資金収支計算書

1年間の行政活動による資金の出入りを性質の異なる3つの区分に分けて表した財務書類です。

(単位:百万円)

期首(年度当初)資金残高 986

当期収支 ▲ 124

(内訳)

経常的収支の部 4,727

- ・人件費や社会保障給付など経常的な行政活動による資金収支

公共資産整備収支の部 ▲ 1,416

- ・建設事業など資産の形成にかかる収支

投資・財務的収支の部 ▲ 3,435

- ・基金積立や借金返済など投資・財務的な収支

期末(年度末)資金残高 862

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを表した財務書類です。

(単位:百万円)

期首(年度当初)純資産残高 58,456

当期変動高 816

(内訳)

純経常行政コスト ▲ 11,757

一般財源 9,480

補助金等受入 3,095

臨時損益 4

その他 ▲ 6

期末(年度末)純資産残高 59,272

行政コスト計算書

町の行政活動は、人的サービスや給付サービスなどの行政サービスが大きな割合を占めています。

1年間でこのような行政サービスにかかった経費(経常行政コスト)と、その行政サービスの直接の対価として得られた使用料などの収入(経常収益)を対比した財務書類です。

(単位:百万円)

経常行政コスト(a) 12,138

- ・1年間の行政サービスにかかる費用

(内訳)

人にかかるコスト 2,020

- ・職員の給与、退職手当など

物にかかるコスト 4,710

- ・消耗品の購入、施設の修繕費用、減価償却費など

移転支出的なコスト 5,172

- ・社会保障給付、他会計や他団体への繰出金、補助金など

その他のコスト 236

- ・借金の利息分など

経常収益(b) 381

- ・行政サービスを利用された方が直接負担する使用料などの収入

(内訳)

使用料・手数料 224

分担金・負担金・寄附金 157

純経常行政コスト (a)-(b) 11,757

- ・経常行政コストと経常収益の差で、町税や地方交付税などの一般財源や補助金などでまかなう必要がある費用

平成22年度 地方公共団体全体(越前町全体)財務書類4表の概要

町には、普通会計のほか、保険、上下水道、病院などの特別会計や企業会計があります。

普通会計とこのような特別会計や企業会計を一つの行政サービス主体とみなし、その財務状況を連結してストック情報、コスト情報、キャッシュフロー情報などが分かるようにしたものが地方公共団体全体(越前町全体)の財務書類です。

<連結対象会計>

地方公共団体全体(越前町全体)	
一般会計	普通会計
温泉事業特別会計	
農林漁業体験実習館事業特別会計	
国民健康保険事業特別会計	上下水道事業会計
老人保健事業特別会計	国民健康保険病院事業会計
介護保険事業特別会計	
後期高齢者医療事業特別会計	
簡易水道事業特別会計	
公共下水道事業特別会計	
集落排水事業特別会計	

※各会計間での取引(繰出金・負担金など)は、相殺消去しています。

地方公共団体全体(越前町全体) 貸借対照表

連結対象会計を一つの行政サービス主体とみなし、その財務状況を連結して平成22年度末時点での資産、負債、純資産を総括的に対照表示した財務書類です。

(平成23年3月31日現在)

(単位:百万円)

借方【財産】	貸方【財源】
【資産の部】 110,585	【負債の部】 31,085
・連結対象会計で行政サービスを提 供するために所有する財産	・借金や職員の退職金など将来の 世代が負担する債務
(内訳)	(内訳)
公共資産 103,148	固定負債 28,093
・道路、学校、庁舎、病院、下水道など	・地方債、職員退職金の将来負担など
投資等 4,702	流動負債 2,992
・基金、出資金、長期延滞債権など	・翌年度返済予定の地方債など
流動資産 2,736	【純資産の部】 79,500
・現金預金、税未収金など	・現在までの世代が既に負担し支払 が済んでいる正味の資産
(うち歳計現金) 2,494	
計 110,585	計 110,585

地方公共団体全体(越前町全体) 資金収支計算書

連結対象会計における1年間の行政活動による資金の出入りを性質の異なる3つの区分に分けて表した財務書類です。

(単位:百万円)

期首(年度当初)資金残高 2,524

当期収支 ▲ 30	
(内訳)	
経常的収支の部 4,760	
・人件費や社会保障給付など経常的な行政活 動による資金収支	
公共資産整備収支の部 ▲ 1,436	
・建設事業など資産の形成にかかる収支	
投資・財務的収支の部 ▲ 3,355	
・基金積立や借金返済など投資・財務的な収支	

期末(年度末)資金残高 2,494

地方公共団体全体(越前町全体) 純資産変動計算書

連結対象会計において貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを表した財務書類です。

(単位:百万円)

期首(年度当初)純資産残高 78,524

当期変動高 976	
(内訳)	
純経常行政コスト ▲ 13,365	
一般財源 9,476	
補助金等受入 4,870	
臨時損益 2	
その他 ▲ 7	

期末(年度末)純資産残高 79,500

地方公共団体全体(越前町全体) 行政コスト計算書

連結対象会計において1年間で人的サービスや給付サービスなどの行政サービスにかかった経費(経常行政コスト)と、その行政サービスの直接の対価として得られた使用料、保険料、事業収益などの収入(経常収益)を対比した財務書類です。

(単位:百万円)

経常行政コスト(a) 17,903	
・連結対象会計で1年間の行政サービ スにかかる費用	
(内訳)	
人にかかるコスト 2,718	
・職員の給与、退職手当など	
物にかかるコスト 6,736	
・消耗品の購入、施設の修繕費用、減 価償却費など	
移転支的コスト 7,790	
・社会保障給付、連結対象会計以外へ の補助金など	
その他のコスト 659	
・借金の利息分など	

経常収益(b) 4,538

・行政サービスを利用された方が直接負担
する使用料、保険料、事業収益などの収入

(内訳)

使用料・手数料 224	
分担金・負担金・寄附金 1,583	
保険料 964	
事業収益 1,730	
その他収入 37	

純経常行政コスト (a)-(b) 13,365

・経常行政コストと経常収益の差で、町
税や地方交付税などの一般財源や補助
金などでまかなう必要がある費用

平成22年度 越前町連結財務書類4表の概要

町には、普通会計、特別会計、企業会計のほか、町が加入している一部事務組合や町が出資している関連法人があります。

普通会計、特別会計、企業会計と、このような一部事務組合や一定以上出資している関連法人を一つの行政サービス主体とみなし、財務状況を連結してストック情報、コスト情報、キャッシュフロー情報などが分かるようにしたものが連結財務書類です。

<連結対象会計・関連法人>

連結		福井県市町総合事務組合
地方公共団体全体(越前町全体)		福井県自治会館組合
一般会計 普通会計	国民健康保険事業特別会計	福井県後期高齢者医療広域連合
	老人保健事業特別会計	福井県丹南広域組合
温泉事業特別会計	介護保険事業特別会計	鯖江丹生消防組合
農林漁業体験実習館事業特別会計	後期高齢者医療事業特別会計	鯖江広域衛生施設組合
上水道事業会計	簡易水道事業特別会計	越前町公共施設管理公社
国民健康保険病院事業会計	公共下水道事業特別会計	越前町社会福祉協議会
	集落排水事業特別会計	

※各会計間や団体間での取引(繰出金・負担金など)は、相殺消去しています。

連結貸借対照表

連結対象会計・関連法人を一つの行政サービス主体とみなし、財務状況を連結して平成22年度末時点での資産、負債、純資産を総括的に対照表示した財務書類です。

(平成23年3月31日現在) (単位:百万円)

借方【財産】		貸方【財源】	
[資産の部]	113,476	[負債の部]	31,864
・連結対象会計・関連法人で行政サービスを提供するために所有する財産		・借金や職員の退職金など将来の世代が負担する債務	
(内訳)		(内訳)	
公共資産	105,407	固定負債	28,687
・道路、学校、庁舎、病院、下水道など		・地方債、職員退職金の将来負担など	
投資等	5,055	流動負債	3,177
・基金、出資金、長期延滞債権など		・翌年度返済予定の地方債など	
流動資産	3,014	[純資産の部]	81,612
・現金預金、税未収金など		・現在までの世代が既に負担し支払が済んでいる正味の資産	
(うち歳計現金)	2,713		
計	113,476	計	113,476

連結資金収支計算書

連結対象会計・関連法人における1年間の行政活動による資金の出入りを性質の異なる3つの区分に分けて表した財務書類です。

(単位:百万円)

期首(年度当初)資金残高 2,795

当期収支	▲ 82
(内訳)	
経常的収支の部	4,824
・人件費や社会保障給付など経常的な行政活動による資金収支	
公共資産整備収支の部	▲ 1,471
・建設事業など資産の形成にかかる収支	
投資・財務的収支の部	▲ 3,434
・基金積立や借金返済など投資・財務的な収支	

期末(年度末)資金残高 2,713

連結純資産変動計算書

連結対象会計・関連法人において貸借対照表の純資産が1年間でどのように変動したかを表した財務書類です。

(単位:百万円)

期首(年度当初)純資産残高 80,686

当期変動高	926
(内訳)	
純経常行政コスト	▲ 14,698
一般財源	9,512
補助金等受入	6,112
臨時損益	8
その他	▲ 8

期末(年度末)純資産残高 81,612

連結行政コスト計算書

連結対象会計・関連法人において1年間で人的サービスや給付サービスなどの行政サービスにかかった経費(経常行政コスト)と、その行政サービスの直接の対価として得られた使用料、保険料、事業収益などの収入(経常収益)を対比した財務書類です。

(単位:百万円)

経常行政コスト(a)	21,043
・連結対象会計・関連法人で1年間の行政サービスにかかる費用	
(内訳)	
人にかかるコスト	3,330
・職員の給与、退職手当など	
物にかかるコスト	7,590
・消耗品の購入、施設の修繕費用、減価償却費など	
移転支出的なコスト	9,369
・社会保障給付、連結対象会計・関連法人以外への補助金など	
その他のコスト	754
・借金の利息分など	

経常収益(b) **6,345**

・行政サービスを利用された方が直接負担する使用料、保険料、事業収益などの収入

(内訳)	
使用料・手数料	262
分担金・負担金・寄附金	2,841
保険料	964
事業収益	2,166
その他収入	113

純経常行政コスト(a)-(b) **14,698**

・経常行政コストと経常収益の差で、町税や地方交付税などの一般財源や補助金などでまかなう必要がある費用